枚方公済病院情報誌
vol.28

スマイル ひらこう

迎春

新年のご挨拶

小児科からのお知らせ／放射線技師から❽／3階西病棟について／
認定看護師通信

迎春

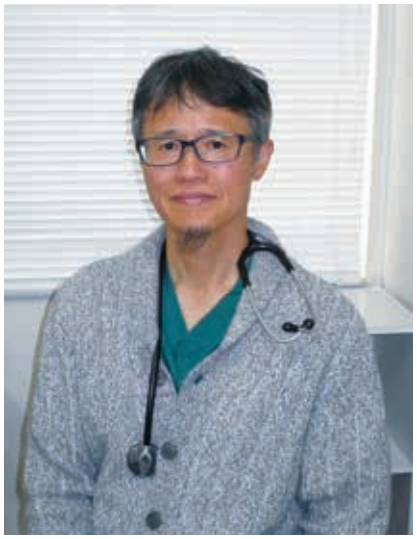
新年のご挨拶を申し上げます

枚方公済病院 院長
野原 隆司

新年あけましておめでとうございます。

私の枚方公済病院院長職は６年目になりました。病院にとって色々な形での改革、強化がなされ、それなりの成果を収めた１クール目の５年間でした。機構によって病院評価がなされ公認の質的担保を得ました。また地域連携病院の指定を受けて地域貢献への弾みを付けました。さらに、昨年病院収支が評価されて念願の共済医学会を京都で主催できました。研修協力病院から基幹病院への移行もでき若い前期、後期の研修医が確保でき、専門医制に移行する専攻医の確保もできました。地域構想計画は進んでいますが、急性期病院としての当院の立ち位置はこれまでどおり変わらず、特に救急を中心にした病院構造はさらに強化維持していく予定です。

今年2019年の大きな話題の一つは医師の働き方改革であろうと思われます。医療へ導かれた初志を崩すことなく、働き甲斐のある病院環境で、患者さんの信頼に足る病院医師として地域に貢献したいと思います。また“医療への貢献と奉仕”という当院理念に燃える病院スタッフとしても成長したいと思います。幸い当院のスタッフのマインドは高く、各セクション、職種の連携はほかの病院に見られないほど強固です。患者さんに優しい医療を提供することにも自信があります。”強く、優しく、頼れる“病院を目指す私どもの姿勢は今年も変わりません。１年を通じてよろしくお願いします。



地域連携患者さん支援センター長
北口 勝司

新年明けましておめでとうございます。地域医療連携室をあらため、地域連携患者さん支援センターから新年のご挨拶を申し上げます。

今年のセンターの目標として、双方向性の情報のやりとりを充実させたいと思います。開業医の先生と私たち病院の勤務医は診療情報提供書を通じて情報のやりとりをしていますが、ともすれば入院時は開業医の先生から、退院時は勤務医からの一方向性になりがちです。ですので、入院中にも情報のやりとりの機会をできるだけ増やしたいと考えています。

患者さんは高齢化し、たくさんの問題を抱えている人が多くなっています。勤務医は、自分の専門領域には深く介入しますが、それ以外の領域には関心が薄いことも多くあります。その患者さんを長く診てこられた先生方には、入院後も治療方針について相談させていただけたらと思います。病気が一段落して、退院の段階でも、病院勤務医と退院後の受け入れ先で十分意思疎通がとれず、そのため早期再入院となるケースも少なくありません。特にかなり悪い状態で退院される患者さんについては、終末期医療についての計画（Advanced Care Planning）をしっかり共有してから退院してもらいたいと考えています。

当院では平成30年４月に基幹型研修医を初めて迎え、平成31年４月には新内科専攻医を初めて迎えます。若手の医師たちにも、地域と向き合うことの重要性をしっかり伝えていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

副院長（看護部長）
畑　幸枝

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

当院看護部は患者にやさしい看護を目指し、昨年４月に入院サポート窓口を開設いたしました。そこでは手術を受ける患者さんの不安を和らげるため、手術室看護師による術前オリエンテーションや師長による病棟案内などを行っています。

高齢社会を反映し認知症患者も増加しています。昨年から認知症看護認定看護師が活躍するようになり、身体拘束が激減しましたが、転倒・転落件数も減少しています。さらに、スタッフ全員が認知症を理解し入院での環境の変化を少しでも和らげる対応を心がけていきたいと思っています。

また、地域へ活動の場を広げる試みとして、商業施設や学校での「健康フェア」を多職種協働で行ってきました。今年も継続し、少しでも地域の方に貢献できればと思っています。

今年４月には特定行為研修を修了した救急看護認定看護師も誕生し、看護の質向上につなげたいと思っています。地域に根ざした急性期病院として、「選ばれる看護部」となれるよう努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

小児科からのお知らせ

小児科
北川 康作

枚方公済病院　小児科の北川康作です。近隣の先生方には、いつも患者さんをご紹介いただくなど何かとお世話になり、ありがとうございます。

私は 2003 年 4 月に当院に赴任しました。当科は 2013 年 4 月より常勤医 1 人体制となり、現在に至っています。京大病院の先生方の応援もあり、新体制後も土曜日午前中をふくめた外来を続けています。一般外来と並行して、乳児健診・予防接種といった地域小児保健にもささやかながら貢献しています。

さて最近、起立性調節障害などの自律神経障害症状を訴えて来院する患児さんが増えています。こういった患児さんたちにはオーダーメイドの対応が必要です。月に 1 回ですがカウンセラーにも来てもらい時間をかけた対応を行っています。

また成長を続ける子供たちには、容姿に関する悩みも増えてきます。代表的なのが低身長です。-2SD という基準でいきますと小児 100 人あたり 1~2 人は低身長の方がいるはずですが、保護者の間ではこの疾患に対する認知は高くないようです。当院では成長ホルモン分泌不全性低身長の診断基準に必要な分泌負荷試験と治療を行っています。身長が伸びるのは小児期だけですので、この福音を必要とする多くの子供たちにもれなく届けてやりたいと思います。低身長を疑われる子供がおられましたら是非声をかけてあげてください。

地域の先生方には今後も何かとお世話になることと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

＜診療内容＞

私は小児腎疾患を専門としておりますが、常勤医一人体制ですので専門分野のみならず小児科領域を幅広く担当させていただいております。外来診療だけでは無く入院診療も行っており、ベッドを 3 床分ほど持っています。しかし当院へ患者さんをご紹介頂く際に、入院が必要な症例を選択して頂く必要はありません。患者さんには「入院が必要かどうかも含めて検査を依頼してみましょう」といったスタンスで気軽にご利用いただいて結構です。

＜特色＞

一般的な血液検査であれば 30~40 分で、Xp は混み具合次第ですが血液検査の結果が出るくらいまでには撮影できます。MRI は予約具合次第ですが、当日～数日以内に撮影できています。当院の特徴として循環器内科が充実しておりますので、心エコー・ECG といった検査は当日中に、ホルター心電計も装着して帰宅していただくことが可能です。EEG 検査は検査日が週一日と決められていますので、診察日に予約をおさえることになります。

条件付きMRI対応植込みペースメーカについて

平素より先生方には大変お世話になっております。

今回は最近増加してきたMRI検査対応ペースメーカ患者さん検査の流れや問題点を書かせて頂きます。

日本では2012年10月よりMRI検査を施行できるペースメーカが認可されました。

これは**“条件付き”**MRI対応ペースメーカ（MR-conditionalpacemaker）と呼ばれるもので現在、5社（アボット（旧SJM)・日本メドトロニック・日本ライフライン・バイオトロニックジャパン・ボストン・サイエンティフィックジャパン）から発売されています。

名前にMRI検査対応と付いていますが**“MRI検査を安易に行えるわけではありません”**

MRI検査の施行にあたっては厳しい**“条件”**が付いています。患者さんの安全を確保する為、MRI 検査の施設基準と検査に際しての実施条件を設定しこの施設基準を満たす施設でのみ可能で、実施条件を厳格に遵守することが求められます。

〜 当院での条件付きMRI対応ペースメーカ検査の流れ 〜

- 各科からの検査オーダーにはMRI可ペースメーカと記載され臨床工学技士（以下ME）より連絡を受ける
- 地域医療機関からの紹介では、当院で植込んだペースメーカは検査可能とさせて頂き、他院で植込んだペースメーカについては当院循環器を受診して頂いてからの検査になります。オーダーが入った時点で地域医療連携室より連絡を受ける

★検査当日、患者さんにはペースメーカ手帳とカードを持参して頂きます
★検査直前、前室でMEがペースメーカの状態を確認しセーフモードに変更
★撮影時、放射線技師・MEにより、心電図モニタ、パルスオキシメータを用いて心拍の確認を常に行い不測の事態に即座に対応できるよう除細動器も準備
★撮影中は最大傾斜磁場スルーレート、SAR等、撮影条件が適正か確認
★検査終了後、再び前室でMEがペースメーカの状態を確認し設定を元に戻して検査終了

このように、撮影条件に制約が掛かり**“撮影できないこともあります”**通常の検査よりも時間はかかり、たくさんの手順を踏まなければなりません。ペースメーカの入っている患者さんのオーダー時にはお知らせ下さい。よろしくお願いします。

詳しくは当院にお問い合わせ下さい。

放射線技師　大﨑 麻美

3階西病棟についてご案内します

3階西病棟では消化器外科、消化器内科、呼吸器外科の疾患の方が入院しておられます。消化器外科では胆石症、消化器がん、腸閉塞など消化器に関する手術を受ける患者さん、消化器内科では肝炎、膵炎、胆管炎、腸炎、消化器がんなど内科的な治療が主な患者さん、呼吸器外科では肺がん、気胸などで手術を受ける患者さんなどがおられます。病棟のスタッフは看護師、看護補助者、クラークの29名で、患者さんへの対応を行っています。経験豊富なベテランナースや今年度は2名の新人看護師を迎え、様々な年代と経験を有する看護師で協力し合い看護を行っています。

質の高い看護の提供のため、看護のスキルアップは専門職としてかかせないものであり、当院では院内の認定制度を設けています。がん看護では抗がん剤を投与するために静脈注射を行いますが、最近ではCVポートを埋め込み、治療を受けられる患者さんがおられます。CVポートとは、中心静脈カテーテルの一種で、正式には皮下埋め込み型ポートといわれるものです。その名前のとおり、皮膚の下に埋め込んで薬剤を投与するために使用します。がん患者さんだけではなく高齢な患者さんが増える中、栄養管理にも使用されるようになってきました。以前は医師がCVポートの穿刺を行っていましたが、院内で研修を行い、知識や手技のテストに合格した看護師に院内静脈ポート認定書を発行しています。またがん化学療法看護院内認定も実施しています。抗がん剤治療を行う患者さんに対して医師、薬剤師など多職種と協働し治療を支援していますが、患者さんに安心して治療を受けてもらうことができるように看護師自身も抗がん剤にまつわる知識や技術を持ち看護することが求められるため認定制度を実施しています。また看護師においては認定を受けることで看護することへのやりがいにつながるよう育成の目的も持っています。

3階西病棟の看護師の約7割が院内静脈ポートの認定を取得しており、がん化学療法看護院内認定を5名が取得しています。がん看護では患者さんが日常生活や社会生活と治療を両立させることができるように、そして治療は安全で確実に、苦痛が少ない状況で行えることが重要です。

患者さんが治療を受けながら自分らしく生きていくための支援ができるように、社会の動向を見ながら、必要とされる医療や看護に今後も取り組んでいこうと考えています。

病棟師長　坂口 みつる

院長から認定書授与

認定バッジ

認定看護師通信

12・1月号（2か月毎発行）VOL.34

認定看護師の豆知識

今月は慢性心不全看護認定看護師

心不全のガイドラインが改定されました

2017年改訂版として2018年3月に「急性・慢性心不全診療ガイドライン」として発行されました。これまで、急性心不全治療ガイドラインと慢性心不全治療ガイドラインは分けられていましたが、心不全診療治療ガイドラインとして1本化されました。

これは、急性心不全の多くが慢性心不全の急性増悪であり、急性期から慢性期までシームレスな治療の継続が必要であることから、診療ガイドラインも急性と慢性の2つに区分するのは現実的でないという認識に基づくものです。そのため、慢性・急性心不全のそれぞれ定義も「心不全の定義」にまとめられました。

心不全の定義

ガイドラインとしての定義
なんらかの心臓機能障害、すなわち、心臓に器質的および／あるいは機能的異常が生じて心ポンプ機能の代償機転が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群
一般向けの定義（わかりやすく表現したもの）
心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です

急性・慢性心不全ガイドライン（2017年改訂版）より抜粋

ガイドラインをまだ見たことがないという方は、インターネットですぐに検索できるので患者指導など興味のあるページからでも見てみてはいかがでしょうか。

慢性心不全看護認定看護師　原谷 こずえ

カフェセミナー開催中!!

11：45から12：15 セミナー1
昼ごはん持ち込みOK
12/25 慢性心不全看護
1/15 集中ケア 1/29 皮膚排泄ケア
2/12 認知症看護 2/26 救急看護
奮ってご参加ください！

各分野内線番号

救急看護：村上　8863
慢性心不全看護：原谷　8154
感染管理：薮内　8623
皮膚排泄：大西　8397
認知症看護：藤原　8667
集中ケア：堀内　8676 または　HCU 1301

理念と基本方針

理念

医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

交通のご案内

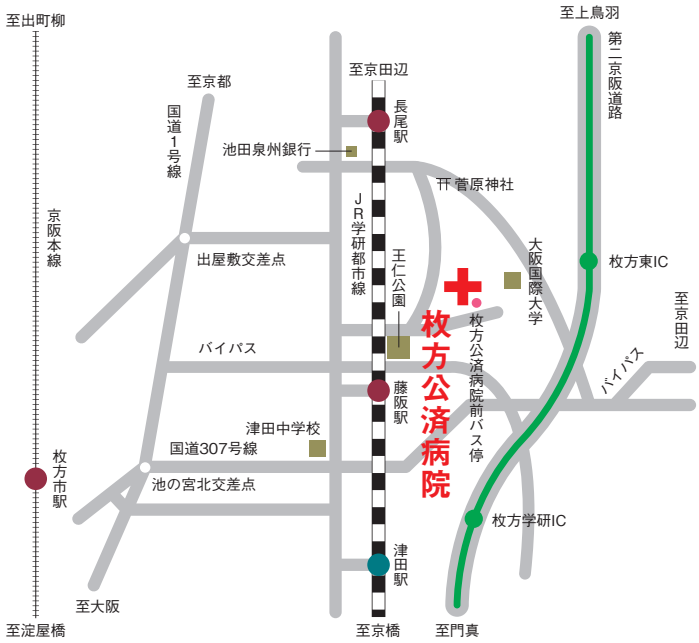
JR をご利用の場合

【電車】JR 学研都市線長尾駅下車　徒歩 10 分
【バス】長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車
【電車】JR 学研都市線藤阪駅下車　徒歩 10 分
【バス】藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）
【バス】枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。
（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町１丁目２番１号
TEL 072（858）8233　FAX 072（859）1093
http://kkr-hirakoh.org/

※病院ホームページ